

# 糖尿病性腎症病期分類の改訂について

## 糖尿病性腎症合同委員会

糖尿病性腎症合同委員会では、CKDの概念・CKD重症度分類の普及などを受け、糖尿病性腎症病期分類の改訂に関する討論を行って参りました。合同委員会構成学会理事会のご意見も頂き、今回表に示す改訂を行いましたのでご報告申し上げます。

主要変更点は下記の通りです。

1. 分類自体は現行の分類を踏襲しましたが、CKD重症度分類の普及に鑑み、付表を作成しました。
2. 病期分類に用いるGFRをeGFRに変更しました。
3. 現行の分類の3期AとB（顕性腎症前期・後期）の区分は行わないこととしました。
4. 尿アルブミン値の程度に拘らず、GFR 30 ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満を全て腎不全としました。
5. 括弧内の文言（早期腎症など）を削除する案も検討しましたが、広く認知されていることに鑑み、今回は残すことにしました。
6. いずれの病期も鑑別診断の重要性を強調しました。

尚、本病期分類および改訂に至った経緯等に関しては、改めて構成学会学会誌に、「委員会報告」として投稿させて頂くことを予定しております。

# 糖尿病性腎症病期分類 (改訂) 注1

病期	尿アルブミン値 (mg/gCr) あるいは 尿蛋白値 (g/gCr)	GFR (eGFR) (ml/分/1.73m <sup>2</sup> )
第1期 (腎症前期)	正常アルブミン尿 (30 未満)	30以上注2
第2期 (早期腎症期)	微量アルブミン尿 (30~299) 注3	30以上
第3期 (顕性腎症期)	顕性アルブミン尿 (300 以上) あるいは 持続性蛋白尿 (0.5以上)	30以上注4
第4期 (腎不全期)	問わない注5	30未満
第5期 (透析療法期)	透析療法中	

注1: 糖尿病性腎症は必ずしも第1期から順次第5期まで進行するものではない。本分類は、厚労省研究班の成績に基づき予後(腎、心血管、総死亡)を勘案した分類である (URL: <http://mhlw-grants.niph.go.jp/>, Wada T, Haneda M, Furuichi K, Babazono T, Yokoyama H, Iseki K, Araki S, Ninomiya T, Hara S, Suzuki Y, Iwano M, Kusano E, Moriya T, Satoh H, Nakamura H, Shimizu M, Toyama T, Hara A, Makino H: The Research Group of Diabetic Nephropathy, Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan. Clinical impact of albuminuria and glomerular filtration rate on renal and cardiovascular events, and all-cause mortality in Japanese patients with type 2 diabetes. Clin Exp Nephrol. 2013 Oct 17. [Epub ahead of print])

注2: GFR 60 ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満の症例はCKDに該当し、糖尿病性腎症以外の原因が存在し得るため、他の腎臓病との鑑別診断が必要である。

注3: 微量アルブミン尿を認めた症例では、糖尿病性腎症早期診断基準に従って鑑別診断を行った上で、早期腎症と診断する。

注4: 顕性アルブミン尿の症例では、GFR 60 ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満からGFRの低下に伴い腎イベント(eGFRの半減、透析導入)が増加するため注意が必要である。

注5: GFR 30 ml/分/1.73m<sup>2</sup>未満の症例は、尿アルブミン値あるいは尿蛋白値に拘わらず、腎不全期に分類される。しかし、特に正常アルブミン尿・微量アルブミン尿の場合は、糖尿病性腎症以外の腎臓病との鑑別診断が必要である。

【重要な注意事項】 本表は糖尿病性腎症の病期分類であり、薬剤使用の目安を示した表ではない。糖尿病治療薬を含む薬剤特に腎排泄性薬剤の使用に当たっては、GFR等を勘案し、各薬剤の添付文書に従った使用が必要である。

(2013年12月 糖尿病性腎症合同委員会)

## 付表：糖尿病性腎症病期分類（改訂）とCKD重症度分類との関係

	アルブミン尿区分	A1	A2	A3
	尿アルブミン定量 尿アルブミン/Cr比 (mg/gCr) (尿蛋白定量) (尿蛋白/Cr比) (g/gCr)	正常アルブミン尿  30未満	微量アルブミン尿  30-299	顕性アルブミン尿  300以上 (もしくは高度蛋白尿) (0.50以上)
GFR区分 (mL/分 /1.73m <sup>2</sup> )	≥90			
	60~89	第1期	第2期	第3期
	45~59	(腎症前期)	(早期腎症期)	(顕性腎症期)
	30~44			
	15~29		第4期	
<15		(腎不全期)		
(透析療法中)		第5期		
		(透析療法期)		

(2013年12月 糖尿病性腎症合同委員会)